

光・赤外線天文学大学間連携事業 <https://oister.kwasan.kyoto-u.ac.jp/> **OISTER** (Optical and Infrared Synergetic Telescopes for Education and Research)

第3期(2022年4月～)

時間軸天文学(Time Domain Astronomy)、マルチメッセンジャー天文学の研究、教育活動を通して、新たな知見を得ると共に未来を担う若手研究人材の育成に貢献する。

国立天文台、北海道大学、埼玉大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、兵庫県立大学、広島大学、鹿児島大学

国内外の12台の中小口径望遠鏡

2024年度の活動報告

- ToO観測：4件、キャンペーン観測：2件 (X線連星、超新星、AGN・ブレイザー、太陽系天体、OISTER外との協調観測も)
- 観測提案: 2024年6月期 4件、11月期 6件 (学生PI 1件) の応募
- OISTERのデータを使った論文出版：査読有2本 (QSO長期モニター Horiuchi et al. 2024、矮新星 Tampo et al. 2024)、その他にOISTER雇用の研究員・特任教員、OISTER望遠鏡側使用の論文
- ワークショップ 2024/12/10-12/12、姫路+オンライン、テーマ「大望遠鏡時代の中小望遠鏡ネットワーク」
口頭 47件、ポスター16件、学生発表賞 <https://oister.kwasan.kyoto-u.ac.jp/oister-workshop-ws2024/>
- 短期滞在実習 OISTERの国内機関 7名、NAOJハワイ観測所 2名
- 学生向けデータ解析講習会 (オンライン開催) 延べ43名参加、撮像・分光・偏光データ一次処理、測光
- データサイエンス講習会 講師：植村誠氏 (広島大)、3月末に開催予定
- 談話会 2回、OISTER外の一部関係者にも案内
 - 第9回 岩切 渉 氏 (千葉大学) 「電磁波観測屋はニュートリノ屋のプロダクトを用いてマルチメッセンジャー屋を開業できるか？」
 - 第10回 志達めぐみ 氏 (愛媛大学) 「X線精密分光と多波長観測で挑むブラックホールX線連星の降着・噴出現象」
- 国立天文台サイエンスロードマップ提出